

白石第二小学校 教員の協働による授業づくり

白石第二小学校では、児童に力を付けるために、教員も力を付けるよう教員全員で授業づくりに取り組んでいます。

特に算数では、自分で考え説明したくなるように学習過程を工夫すれば学力向上につながると考え、日々の授業に取り組んでいます。学年の発達段階に応じた表現方法を用いて、解き方を考えたり、伝え合ったりする活動を取り入れるようにし

ています。

また、全校児童が算数の補充学習にチャレンジする「算チャレ」を実施しています。毎週木曜日の放課後に発展的な問題のテストを行います。間違えた問題は、次の週の「算チャレ」までに満点になるまで繰り返し行っています。児童一人一人が達成感を味わえるように、発展問題のレベルを変え、段階的に取り組んでいます。



7



6 模擬授業後に話し合う先生たち
7 「算チャレ」に取り組む1年生の様子

白石市学力向上プロジェクトの取り組み

白石中学校 小中学校9年間を見通した授業改善

白石中学校では、小学校と中学校が連携して課題を共有し、課題解決のためにどのような授業をしていけば良いのか話し合い、小学校における既習事項を生かした授業を行っています。

また、学力調査の結果分析から、生徒が苦手としている項目について意識して指導しています。「正確に文章を読み取る」ための文章の要約や、「授業で学んだ用語の定着と活用」を図るために根拠

や理由を生徒自身に考えさせ、互いに説明させる授業展開を行っています。

さらに、実力テストや定期テストの個人成績票を返却する時に、十分でなかった分野や問題について再度解き直しを行い、確実な習得に努めるようにアドバイスをしたり、適応問題を配布したりして実践力を身につけられるよう、教職員一丸となって取り組んでいます。



2



1 生徒同士が教え合いをしている様子
2 自分たちの考えを発表している様子

越河小学校 小規模校のよさを生かした授業づくり

越河小学校では小規模校の特性を生かし、一人一人の考えを大切にできる授業に力を入れています。特に算数の授業は実践を通してより良い指導法を探り、校内研究に取り組んでいます。

授業では、「つかむ→考える→学び合う→まとめる」の4段階で進めるように努めています。中でも、「学び合う」の段階では、児童全員が黒板前のスペース「学び合い広場」に集まり、一人一

人が考えを出し合いより良い解決方法を探します。どうすれば児童がもっと自分の考えを述べるようになるか、児童同士が主体的に話し合えるようになるか、授業後に全教員で検討しています。

また、7・12・2月の年3回、全校で漢字・計算コンクールを行い、基礎学力の定着を図っています。児童はパーフェクト賞を目指して意欲的に練習に励み、大きな成果となっています。



9



8

8 2年生の授業。「学び合い広場」で意見を出し合いながら、解き方を全員で考えます 9 研究授業後の検討会の様子。他校の教員を交えて話し合うことも

東中学校 分かる授業・学習課題の工夫・家庭生活見直しの3本柱

東中学校では3本柱を中心に、職員と保護者連携のもと、学力向上に取り組んでいます。

授業では、何をできるようにするか「めあて」を提示して生徒に意識させています。授業後には振り返りを行い、どれだけ達成されたかを確認しています。学習課題は、学力に応じたプリントを準備し、選択して取り組めるようにしています。

さらに、生徒の体調を整えるとともに、授業で

学んだことを定着させるため、家庭の協力を得て「朝食は数種類のを食べる」「7～8時間の睡眠をとる」「スマホ・テレビ視聴は2時間以内にする」など生活の見直しに取り組んでいます。

そのほかにも、学習相談や個別学習ができるスペースの設置や、新聞コラムを試写して読解力・語彙力を身につける学習、掲示物を工夫して生徒のやる気を引き出す取り組みを行っています。



5



4



3

3 職員室前に設けた学習スペース 4 授業で自分の考えを友だちに伝えています 5 確認テストの満点者を掲示し、生徒のやる気を引き出します